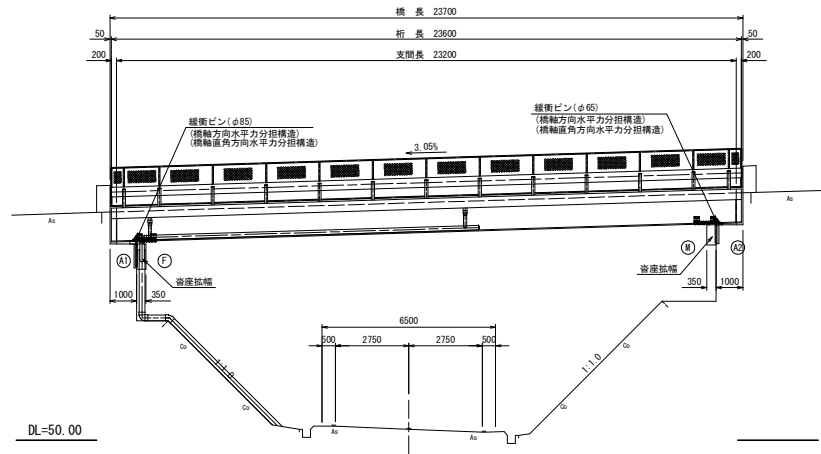


神杣橋 耐震補強一般図

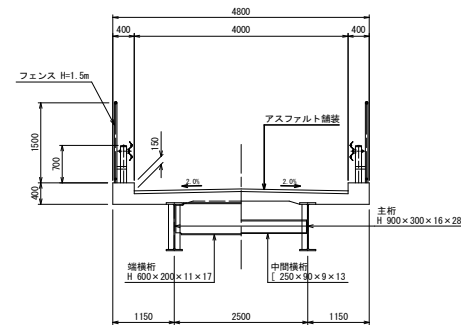
側面図

S=1:100



断面図

S=1:50

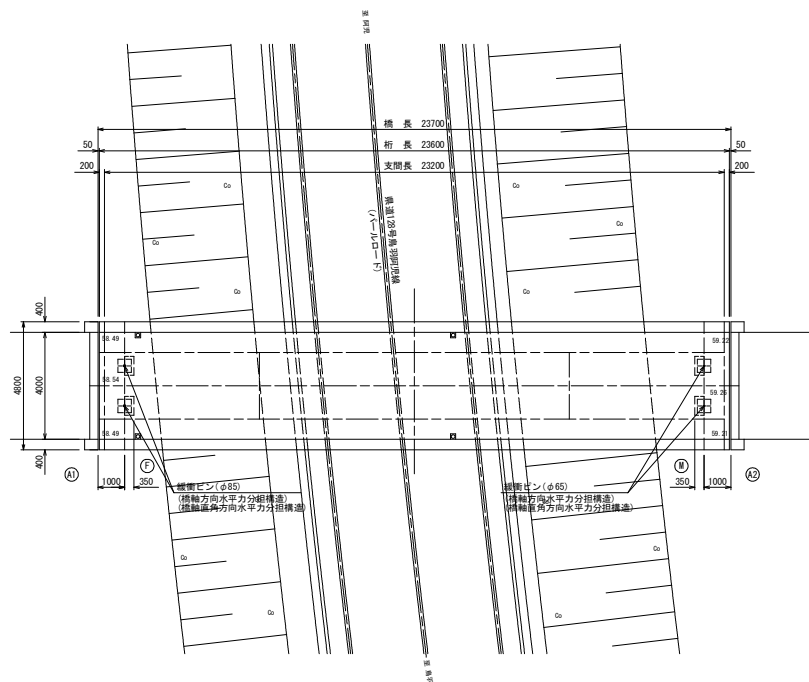


設計条件

橋格	二等橋
荷重	-
上部工形式	単純鋼桁
橋長	23.700m
桁長	23.600m
支間長	23.200m
全幅員	4.800m
有効幅員	4.000m
斜角	90° 00'
舗装	アスファルト舗装
支承	線支承
橋台	逆T式
基礎	直接基礎

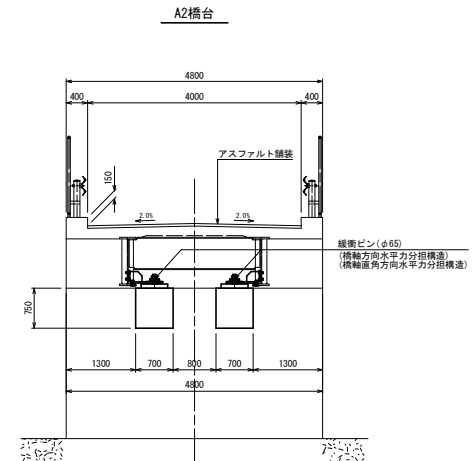
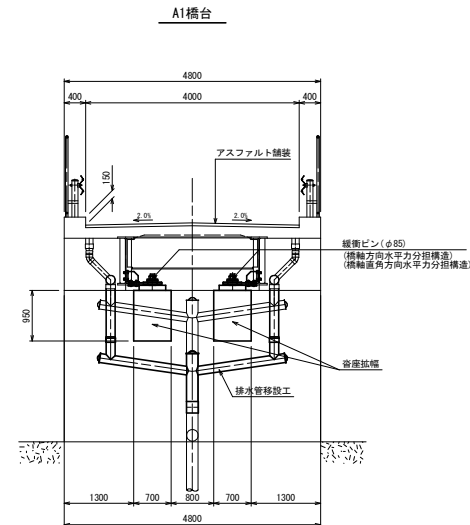
平面図

S=1:100



正面図

S=1:50



注記 1) : 各種施工においては、施工前に詳細調査を行い、施工位置・寸法を確認すること。  
施工位置・寸法が現状と不適合と判断される場合には、別途監督員と協議をすること。  
2) : 各種施工においては、既設鉄筋を切断しないようにすること。

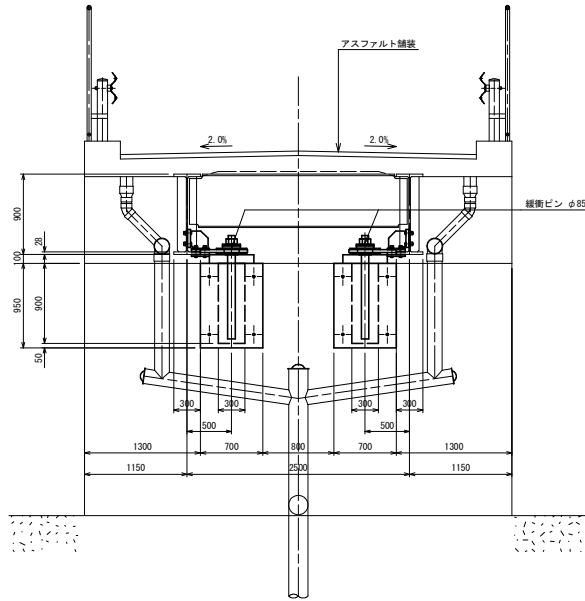
工事名	令和7年度 第3A1第004号 神杣橋 橋梁耐震補強工事
工事場所	志摩市 阿児町 轡方 地内
名称	耐震補強一般図
縮尺	図示
設計年月日	
工種	設計者
志摩市	図面番号

# 緩衝ピン構造図

A1橋台

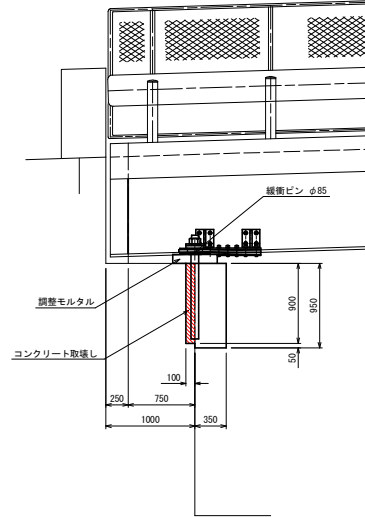
正面図

S=1:30



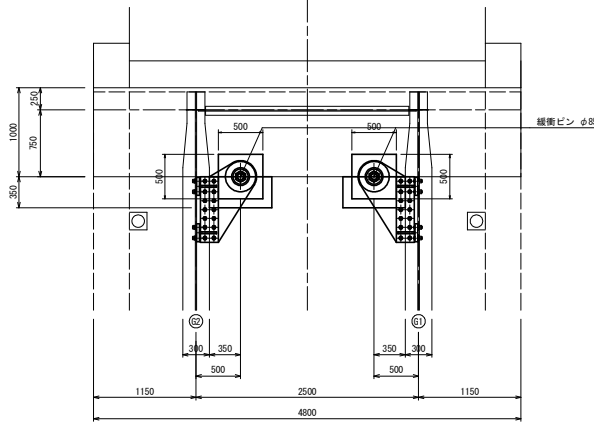
側面図

S=1:30



平面図

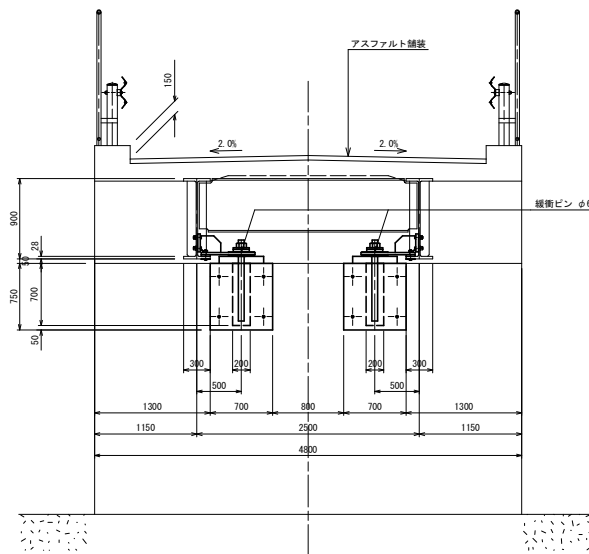
S=1:30



A2橋台

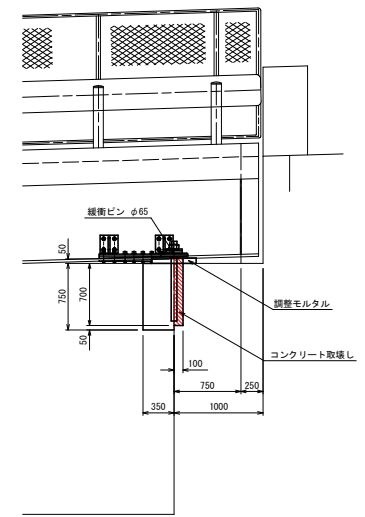
正面図

S=1:30



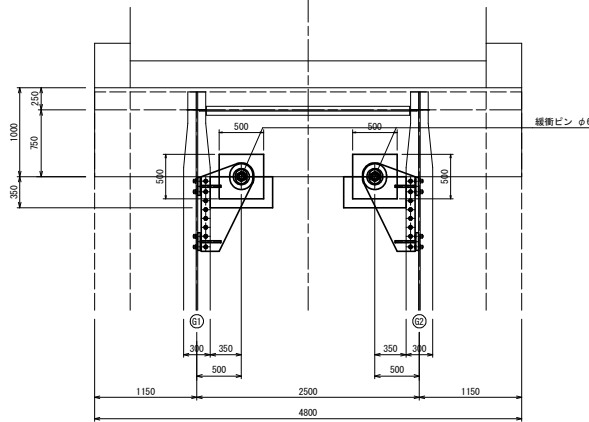
側面図

S=1:30



平面図

S=1:30

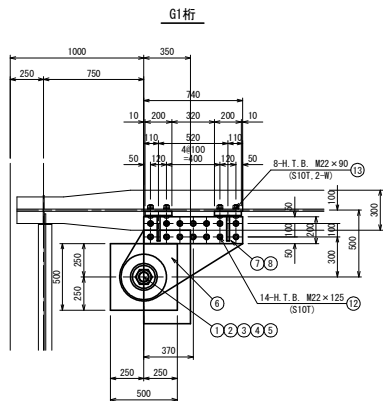


注記 1) : 各種施工においては、施工前に詳細調査を行い、施工位置・寸法を確認すること。  
施工位置・寸法が現状と不適合と判断される場合には、別途監督員と協議をすること。  
2) : 各種施工においては、既設鉄筋を切断しないようにすること。

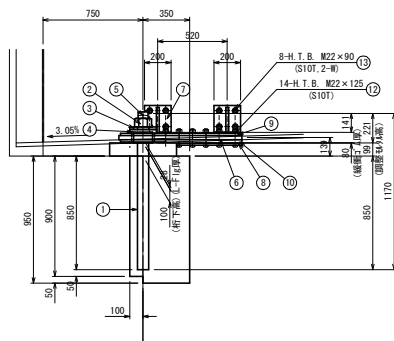
工事名	令和7年度 第3A1第004号 神松橋 橋梁耐震補強工事
工事場所	志摩市 阿児町 鵜方 地内
名称	緩衝ピン構造図
縮尺	図示
設計年月日	
工種	設計者
志摩市	図面番号
	2/12

緩衝ピン詳細図(1)  
(橋軸方向水平力分担構造、橋軸直角方向水平力分担構造)  
(A1橋台)

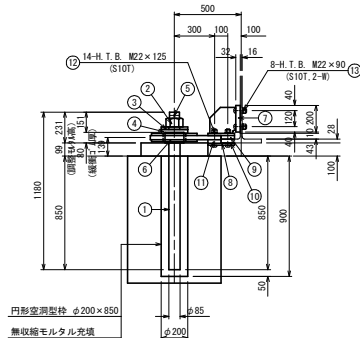
平面図  
S=1:20



断面図  
S=1:20

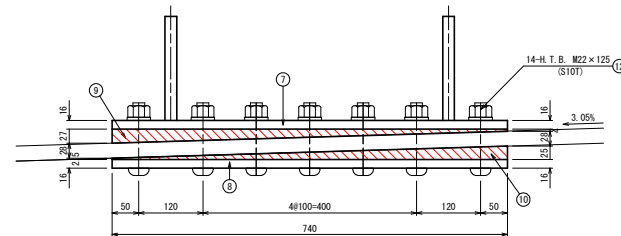


正面図  
S=1:20

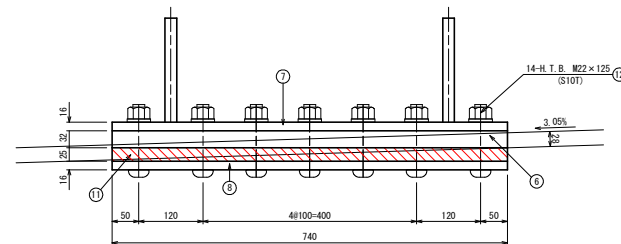


フィラプレート詳細図  
S=1:5

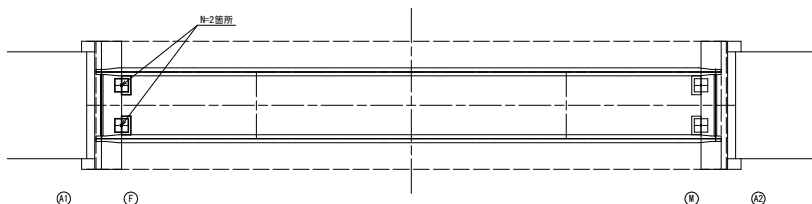
1-1断面図  
(L-Fig側)



2-2断面図  
(取付金具側)



位置図

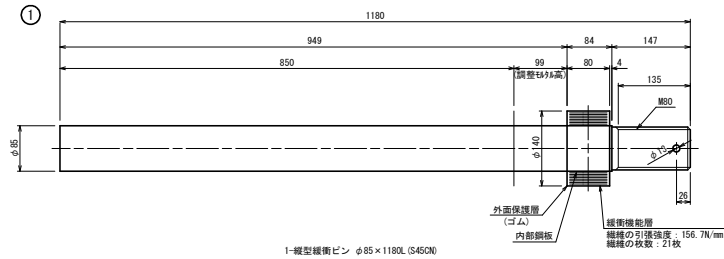


注記：1) 緩衝緩衝ピンの形状、鋼材加工及びブラケットの取付位置等は、現地再調査の上最終決定すること。なお、寸法を変更する時は監督官と協議の上、必要に応じて応力計算を行うこと。  
2) 施工にあたっては事前に鉄筋検査を行い、鉄筋を切断しないようにすること。

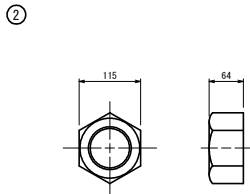
工事名	令和7年度 第3A1第004号 神松橋 橋梁耐震補強工事
工事場所	志摩市 阿児町 鵜方 地内
名称	緩衝ピン詳細図 (1)
縮尺	図示
設計年月日	
工種	設計者
志摩市	図面番号
	3/12

緩衝ピン詳細図(2)  
(橋軸方向水平力分担構造、橋軸直角方向水平力分担構造)  
(A1橋台)

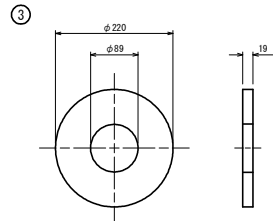
緩衝ピン詳細図  
(PRF緩衝ピン) S=1:5



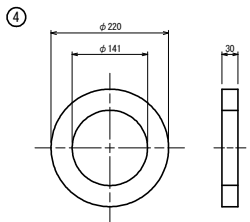
1-緩衝ピン φ85×1180L (S45CN)



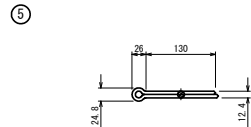
※ 1-ナット(一種) M80 (SS400)



※ 1-ワッシャー φ220(φ89)×19t (SS400)

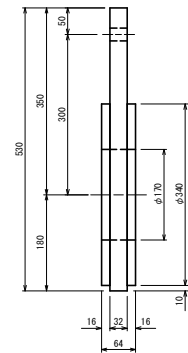
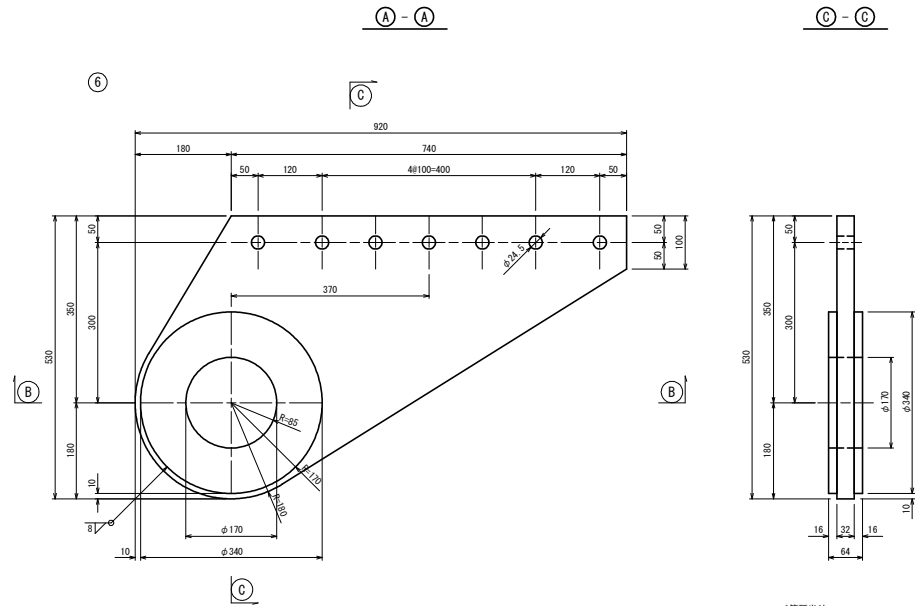


1-スペーサー φ220(φ141)×20t (ゴム)

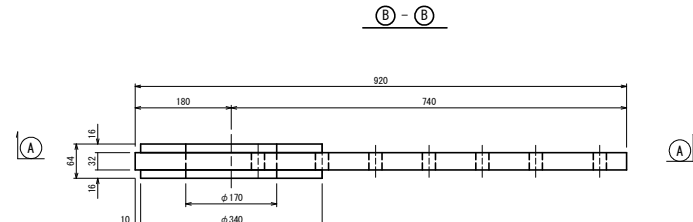


1-割リピン φ13×130L (SUS304)

取付金具加工図  
S=1:5



1箇所当り  
1-TOP 530×32×920  
2-DUUBL 340×16×340

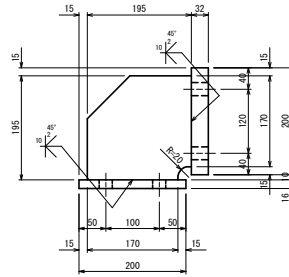
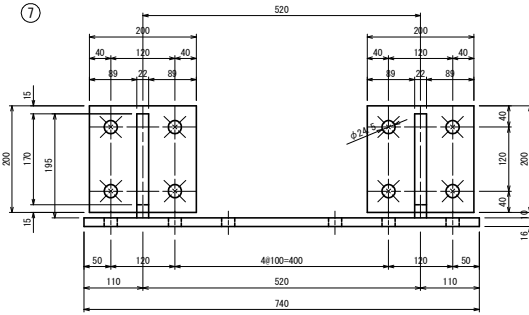


注記)  
1) 部材の製作は、現場実測後に行うこと。  
2) 高力ボルトの孔明けは、新設・既設部共通でφ24.5(M22用)とする。  
3) 高力ボルトにより接合される材片の接触面は、0.4以上のすべり係数が得られるようにプラスト処理すること。  
4) ※の高力ボルトは頭部側にも座金を用いるものとする。  
5) 接合部材材質は全てSS400とする。  
6) ※印部材は溶融亜鉛メッキを施す。  
付着量は、緩衝ピン及びNut、Washer JISB641 HZT49

工事名	令和7年度 第3A1第004号 神松橋 橋梁耐震補強工事
工事場所	志摩市 阿児町 鵜方 地内
名称	緩衝ピン詳細図 (2)
縮尺	図示
設計年月日	
工種	設計者
志摩市	図面番号
	4/12

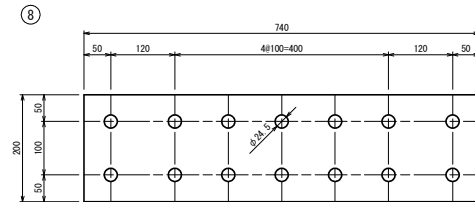
緩衝ピン詳細図(3)  
(橋軸方向水平力分担構造、橋軸直角方向水平力分担構造)  
(A1橋台)

添接板詳細図  
S=1:5



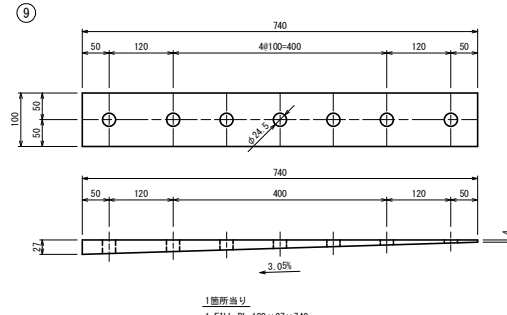
1箇所当り  
1-SPL PL 200×16×740  
2-BASE PL 200×32×200  
2-RIB PL 195×22×195

添接板詳細図  
S=1:5

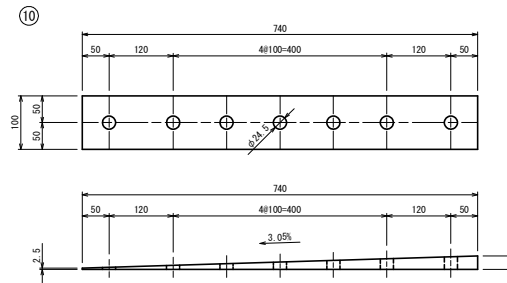


1箇所当り  
1-SPL PL 200×16×740

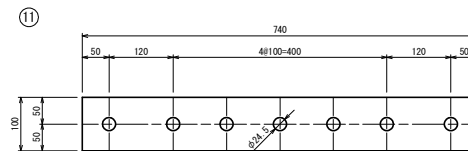
フィラープレート詳細図  
S=1:5



1箇所当り  
1-FILL PL 100×27×740



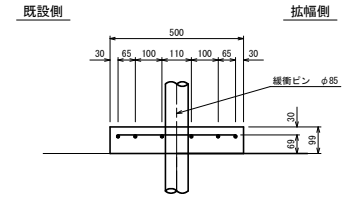
1箇所当り  
1-FILL PL 100×25×740



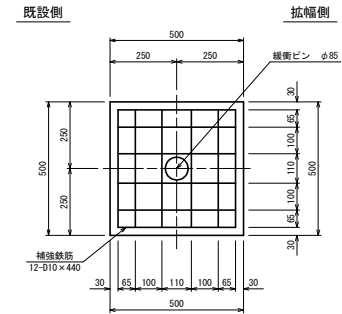
1箇所当り  
1-FILL PL 100×25×740

調整モルタル  
S=1:10

側面図



平面図

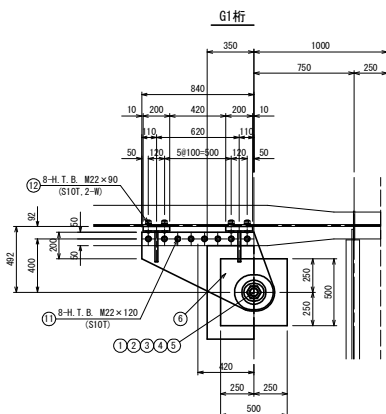


注記)  
1) 部材の製作は、現場実測後に行うこと。  
2) 高力ボルトの孔間は、新設・既設部共通でφ24.5(M22用)とする。  
3) 高力ボルトにより接合される材片の接触面は、0.4以上のすべり係数が得られるようにプラスト処理すること。  
4) 高力ボルトは頭部側にも座金を用いるものとする。  
5) 補強鉄筋は全てS400とする。  
6) ※印部材は溶融亜鉛メッキを施す。  
付数量は、縦型緩衝ピン及びNut、Washer JISB641 H2T49

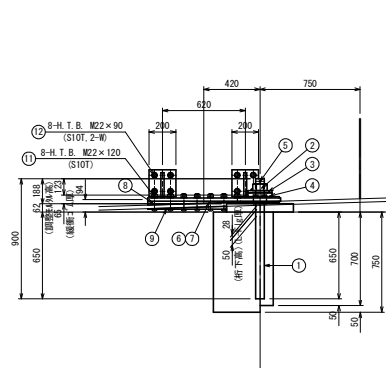
工事名	令和7年度 第3A1第004号 神松橋 橋梁耐震補強工事
工事場所	志摩市 阿児町 勘方 地内
名称	緩衝ピン詳細図 (3)
縮尺	図示
設計年月日	
工種	設計者
図面番号	5/12

(橋軸方向水平力分担構造、橋軸直角方向水平力分担構造)  
(A2橋台)

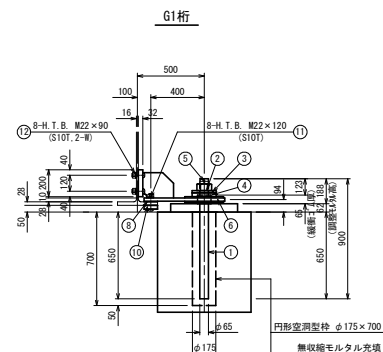
$S=1:20$



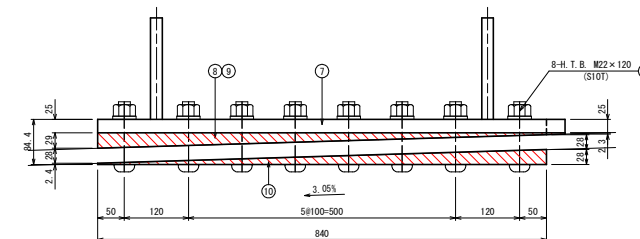
S=1:20



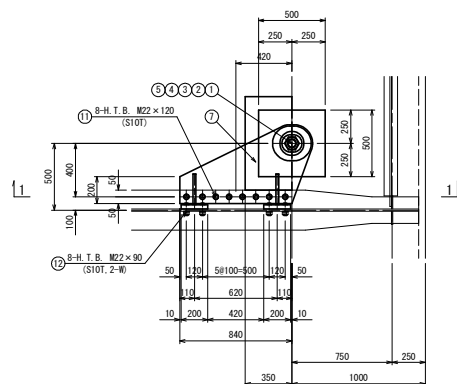
S=1:20


$$S=1:5$$

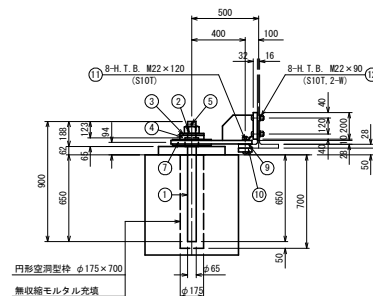
(L-F | g側)



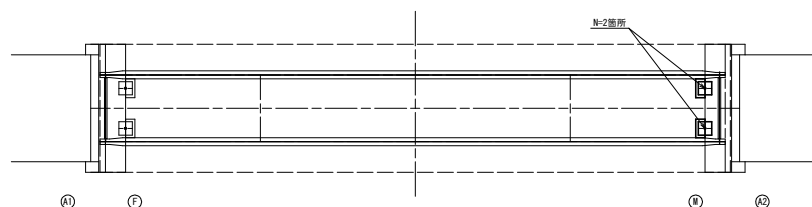
## G2桁



## G2桁



位置图



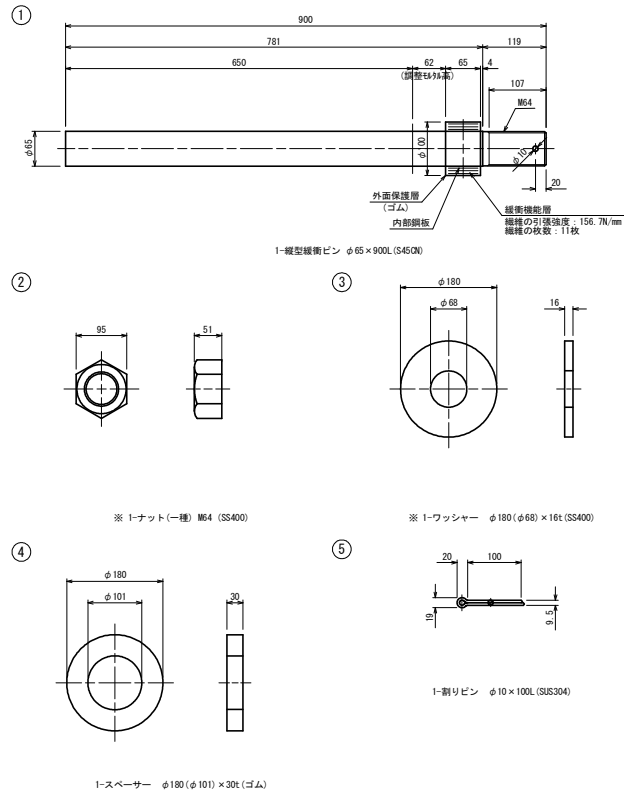
注記：1) 縦型緩衝ピンの形状、鋼材加工及びブラケットの取付位置等は、現地再調査の上最終決定すること。なお、寸法を変更する時は監督官と協議の上、必要に応じて応力計算を行うこと。

2) 施工にあたっては事前に鉄筋探査を行い、鉄筋を切断しないようにすること。

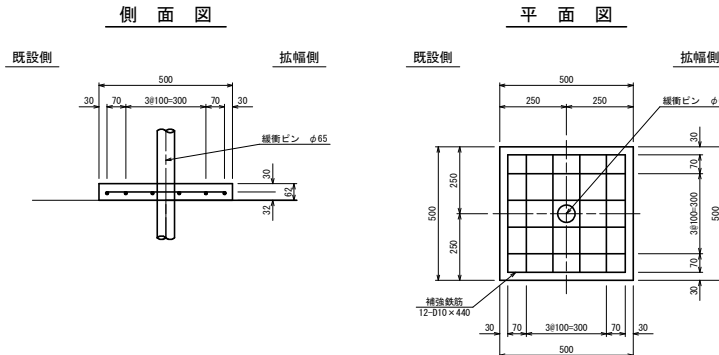
工 事 名	令和7年度 第3A1阿004号 神址橋 橋梁耐震補強工事		
工事場所	志摩市 阿児町 鵜方 地内		
名 称	緩衝ピン詳細図 (4)		
縮 尺	図 示	設計年月日	
工 種		設 計 者	
志 摩 市		図面番号	6/12

緩衝ピン詳細図(5)  
(橋軸方向変位制限構造、橋軸直角方向変位制限構造)  
(A2橋台)

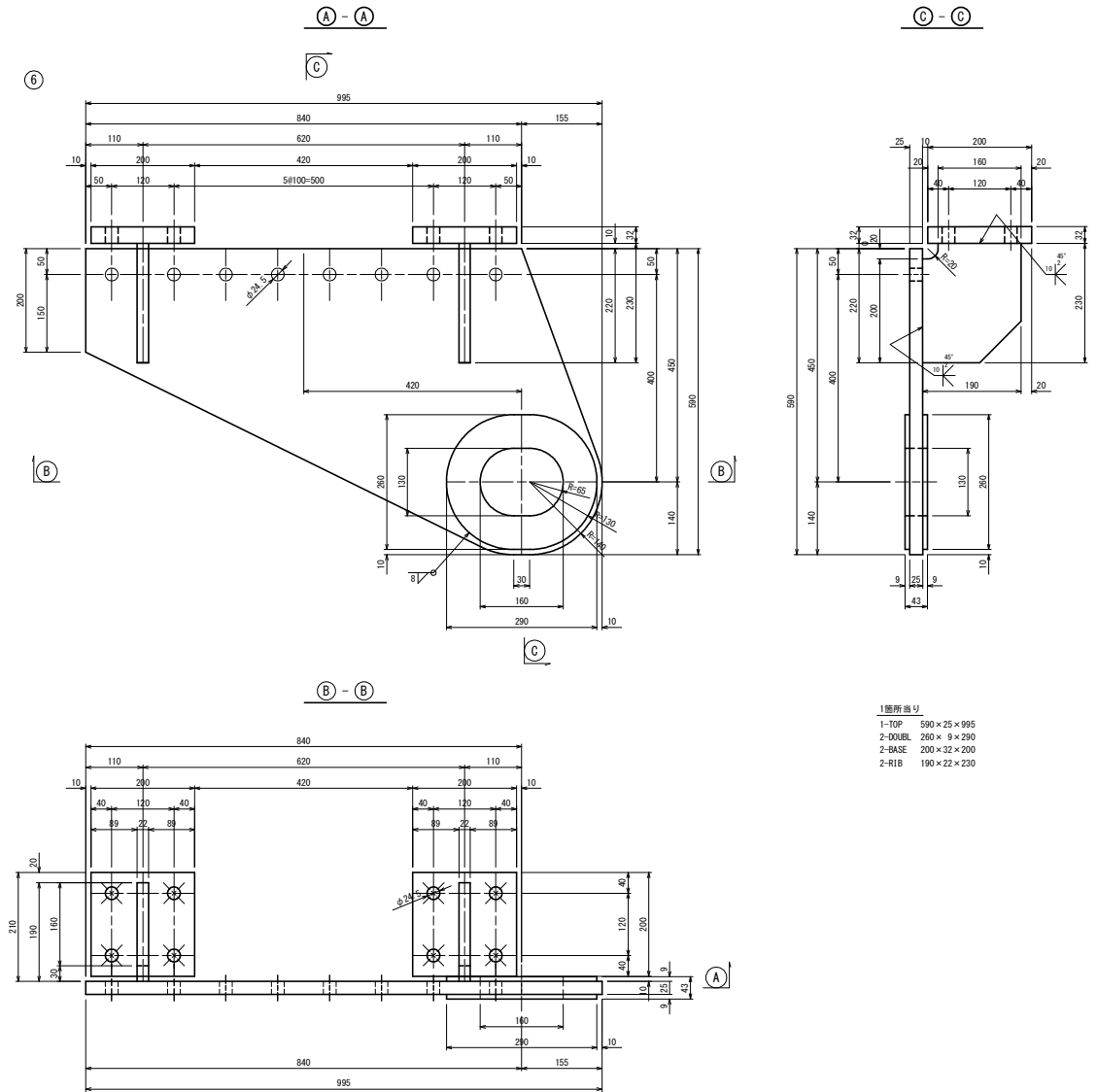
緩衝ピン詳細図  
(PRF緩衝ピン) S=1:5



調整モルタル  
S=1:10



取付金具加工図  
S=1:5



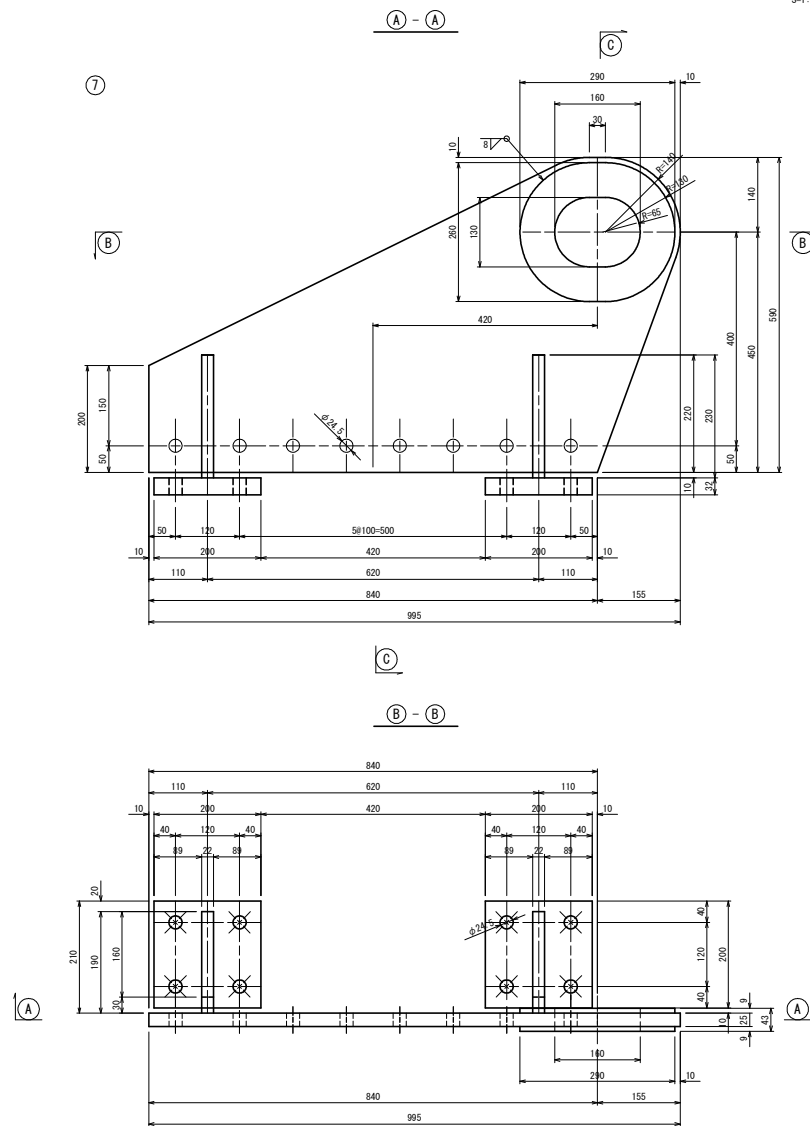
注記  
1) 部材の製作は、現場実測後に行うこと。  
2) 高力ボルトの孔間は、新設・既設部共通で $\phi 24.5$  (M22用) とする。  
3) 高力ボルトにより接合される材片の接触面は、0.4以上のすべり係数が得られるようにプラスチック処理すること。  
4) 高力ボルトは頭部側にも座金を用いるものとする。  
5) 部材の材質は全てS45CNとする。  
6) ※印部材は溶融亜鉛メッキを施す。  
付数量は、緩衝ピン及びNut、Washer JISB641 H2T49

工事名	令和7年度 第3A1回004号 神松橋 橋梁耐震補強工事
工事場所	志摩市 阿児町 鵜方 地内
名称	緩衝ピン詳細図 (5)
縮尺	図示
設計年月日	
工種	設計者
志摩市	図面番号
	7/12

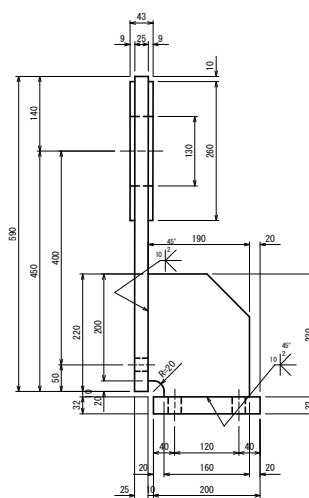
緩衝ピン詳細図(6)  
(橋軸方向変位制限構造、橋軸直角方向変位制限構造)  
(A2橋台)

取付金具加工図

S=1:5



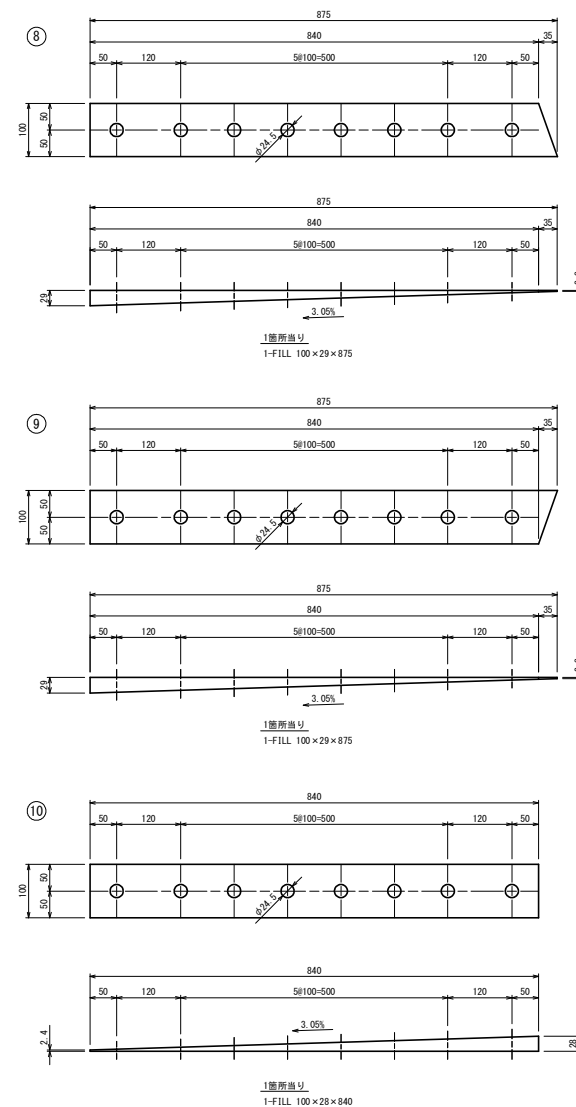
C - C



1箇所当り  
1-TOP 590×25×995  
2-DUUBL 260×9×290  
2-BASE 200×32×200  
2-RIB 190×22×230

フィラープレート詳細図

S=1:5



注記)  
1) 部材の製作は、現場実測後に行うこと。  
2) 高力ボルトの孔明けは、新設・既設部共通でφ24.5(M22用)とする。  
3) 高力ボルトにより接合される材材の接触面は、0.4以上のすべり係数が得られるようにプラスト処理すること。  
4) 高力ボルトは頭部側にも座金を用いるものとする。  
5) 特記な材料等は全て選別品とする。  
6) ※印刷部材は溶融亜鉛メッキを施す。  
付着量は、縦型緩衝ピン及びNut、Washer JISB641 HZT49

工事名	令和7年度 第3A1第004号 神松橋 橋梁耐震補強工事
工事場所	志摩市 阿児町 鵜方 地内
名称	緩衝ピン詳細図 (6)
縮尺	図示
設計年月日	
工種	設計者
志摩市	図面番号
	8/12

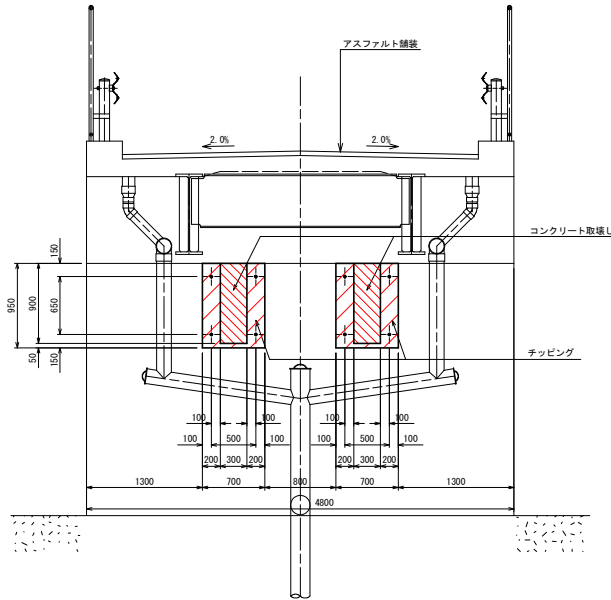


# 沓座拡幅構造図

A1橋台

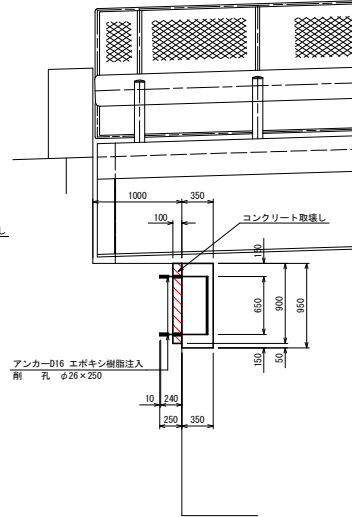
正面図

S=1:30



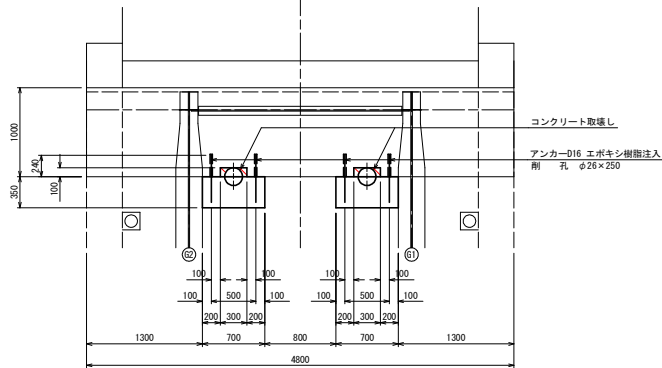
側面図

S=1:30



平面図

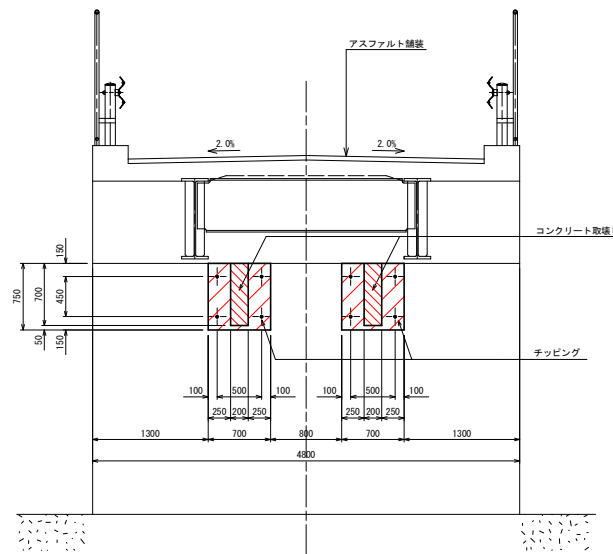
S=1:30



A2橋台

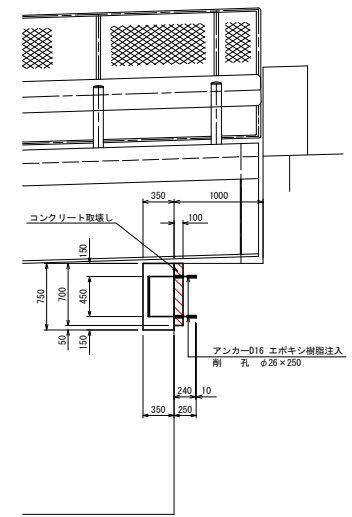
正面図

S=1:30



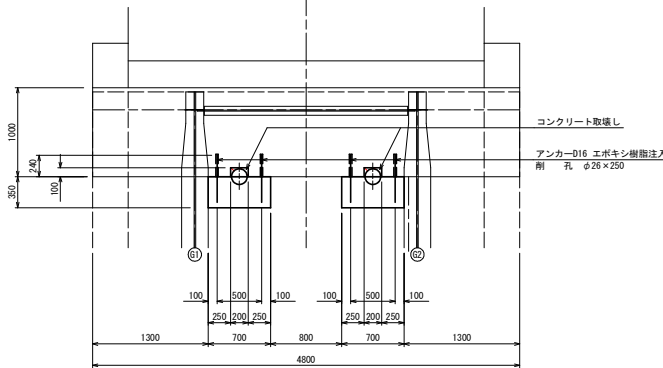
側面図

S=1:30



平面図

S=1:30



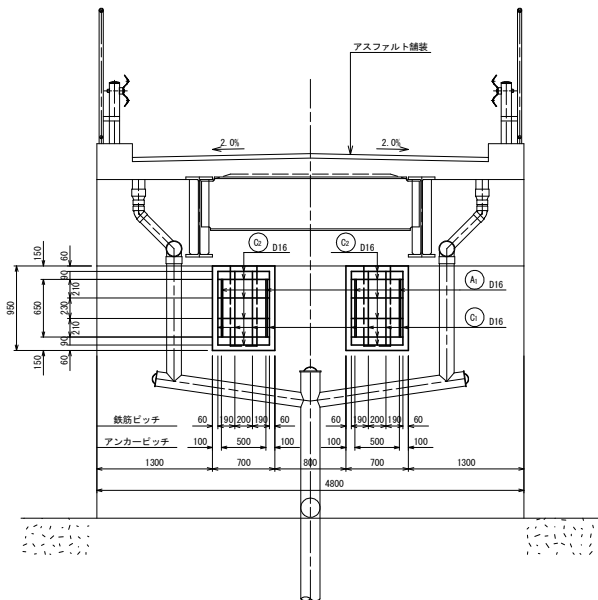
注記: 1) 施工にあたっては事前に鉄筋探査を行い、鉄筋を切断しないようにすること。  
2) アンカー筋は、150以上の定着長を確保すること。  
3) コンクリートの規格は、24-12-2588とすること。

工事名	令和7年度 第3A1阿004号 神杣橋 橋梁耐震補強工事
工事場所	志摩市 阿児町 鵜方 地内
名称	沓座拡幅構造図
縮尺	図示
設計年月日	
工種	設計者
志摩市	図面番号
	9/12

A1橋台沓座拡幅配筋図

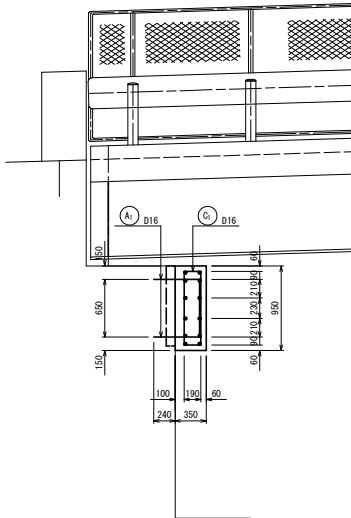
正面図

S=1:30



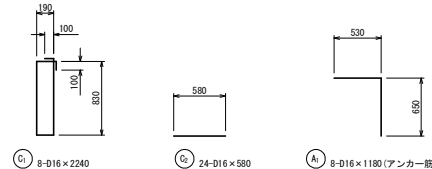
側面図

S=1:30



加工図

S=1:30

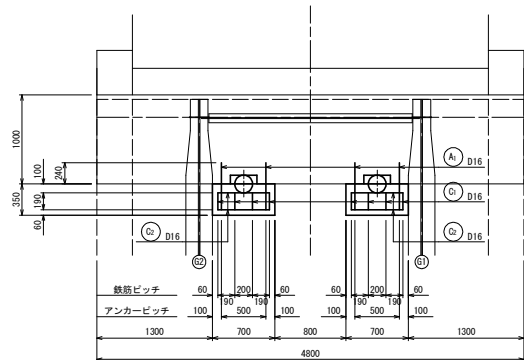


鉄筋重量表

記号	径	長さ	単位重量	1本当り重量	本数	重量	形状	摘要
C1	D16	2240	1.56	3.494	8	28.0		
C2	D16	580	1.56	0.905	24	21.7		
A1	D16	1180	1.56	1.841	8	14.7		アンカー筋
			SD345	D16		64.4kg		
			SD345	合計		64.4kg		

平面図

S=1:30



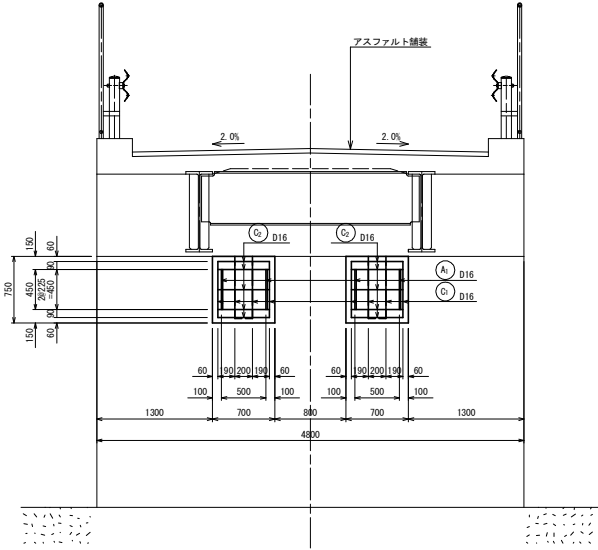
注記：1) 施工にあたっては事前に鉄筋探査を行い、鉄筋を切断しないようにすること。  
2) アンカー筋は、150以上の定着長を確保すること。  
3) コンクリートの規格は、24-12-2588とすること。

工事名	令和7年度 第3A1第004号 神松橋 橋梁耐震補強工事		
工事場所	志摩市 阿児町 鵜方 地内		
名称	A1橋台沓座拡幅配筋図		
縮尺	図示	設計年月日	
工種		設計者	
志摩市	図面番号	10/12	

A2橋台沓座拡幅配筋図

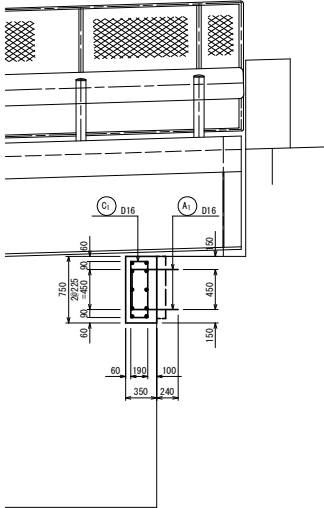
正面図

S=1:30



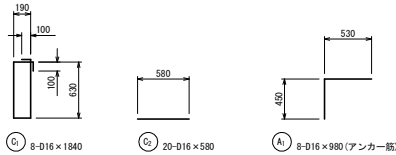
側面図

S=1:30



加工図

S=1:30

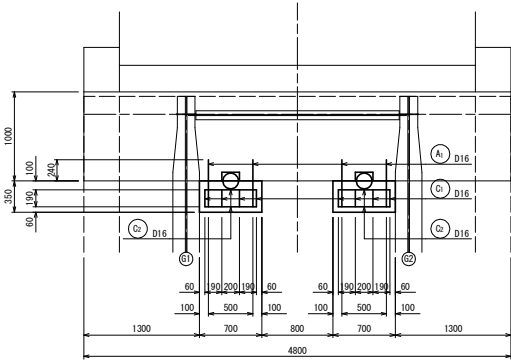


鉄筋重量表

記号	径	長さ	単位重量	1本当り重量	本数	重量	形状	摘要
(C)	D16	1840	1.56	2.870	8	23.0	□	
(C)	D16	580	1.56	0.905	20	18.1	—	
(A)	D16	980	1.56	1.529	8	12.2	┐	アンカー筋
SD345 D16						53.3kg		
SD345 合計						53.3kg		

平面図

S=1:30



注記：1) 施工にあたっては事前に鉄筋配置を行い、鉄筋を切断しないようにすること。  
2) アンカー筋は、150以上の定着長を確保すること。  
3) コンクリートの規格は、24-12-2588とすること。

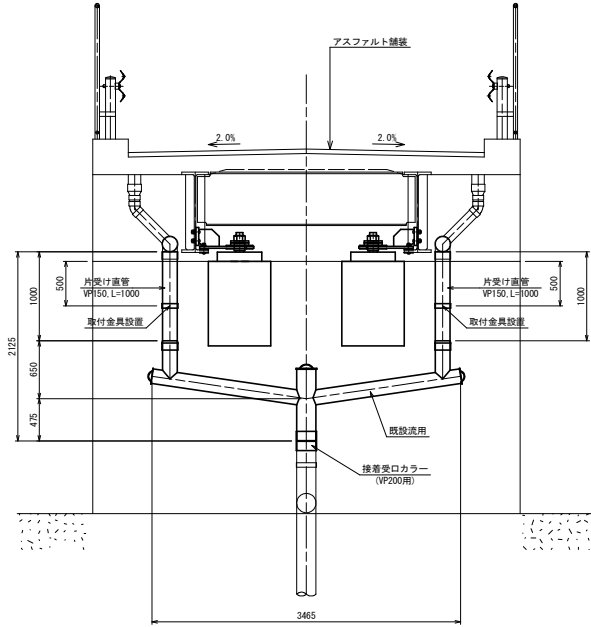
工事名	令和7年度 第3A1第004号 神松橋 橋梁耐震補強工事		
工事場所	志摩市 阿児町 鵜方 地内		
名称	A2橋台沓座拡幅配筋図		
縮尺	図示	設計年月日	
工種		設計者	
志摩市	図面番号	11/12	

排水管移設工詳細図

A1橋台

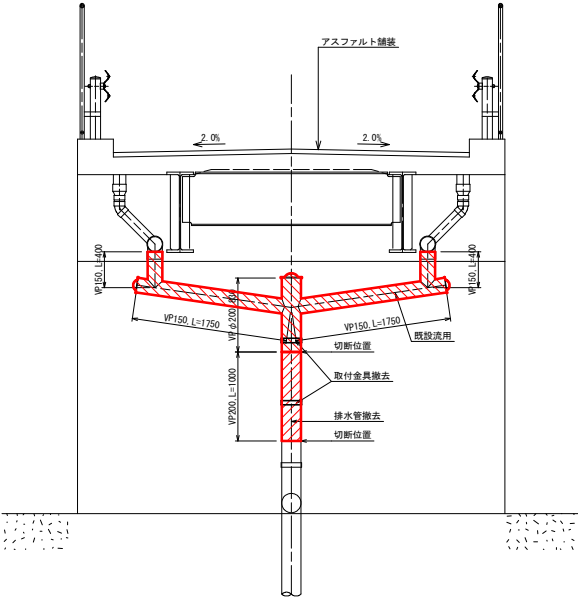
設置工

S=1:30



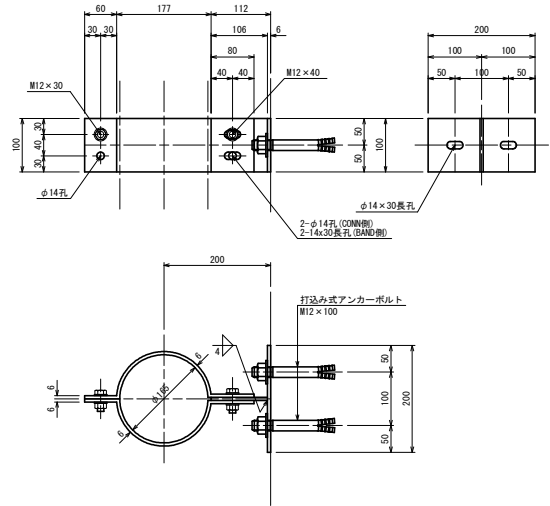
撤去工

S=1:30



取付金具

S=1:5



- 一箇所当り
- 2-BAND FB 100×6×410
  - 1-CONN FB 100×6×106
  - 1-CONN FB 100×6×200
  - 2-BN M12×40
  - 2-BN M12×30
  - 2-打込み式アンカー M12×100

注) 1. 特記なき材質は全てSS400とする。  
2. 鋼材は全て溶融亜鉛メッキを施すこと。

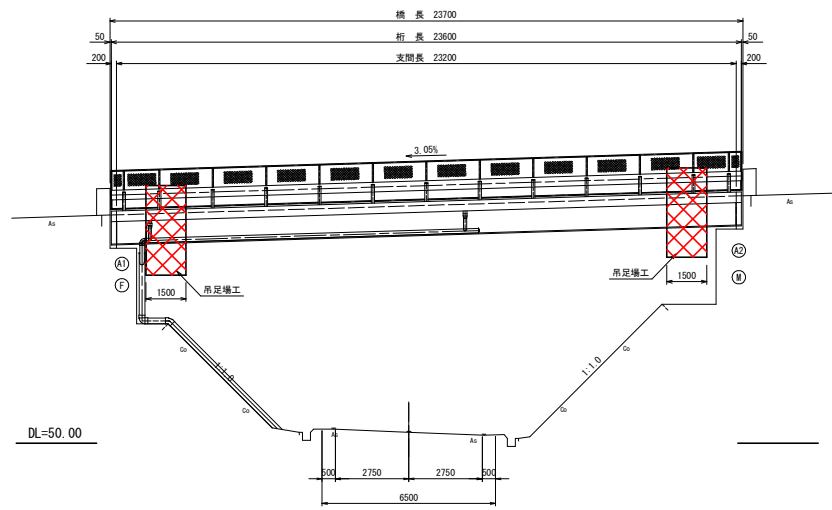
※ 各種修復においては、施工前に詳細調査を行い、施工位置・寸法を確認すること。  
施工位置・寸法が現状と不適合と判断される場合においては、別途監督員と協議をすること。

工事名	令和7年度 第3A1第004号 神松橋 橋梁耐震補強工事		
工事場所	志摩市 阿児町 瀬方 地内		
名称	排水管移設工詳細図		
縮尺	図示	設計年月日	
工種		設計者	
志摩市	図面番号	12/12	

仮設足場工 参考図

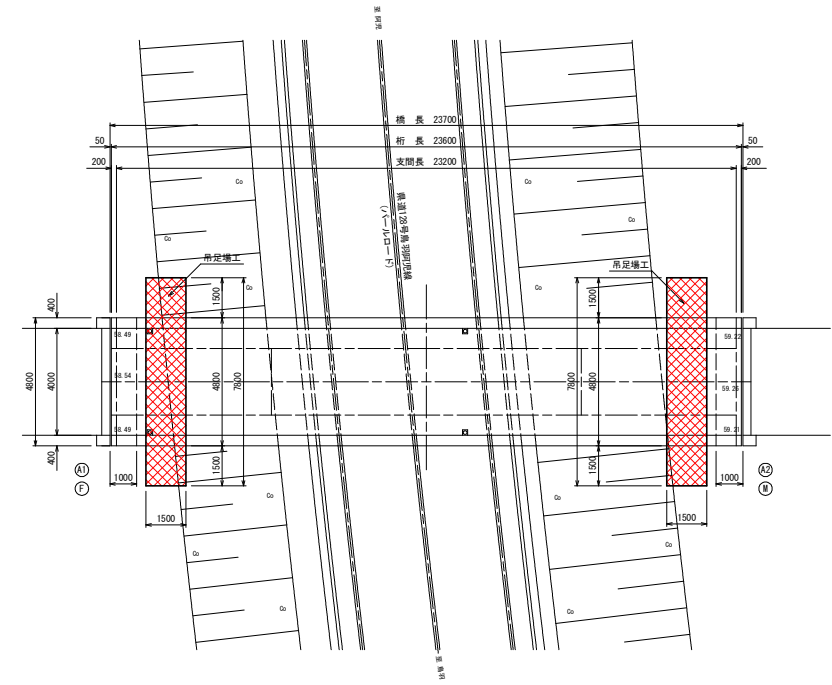
側面図

S=1:100



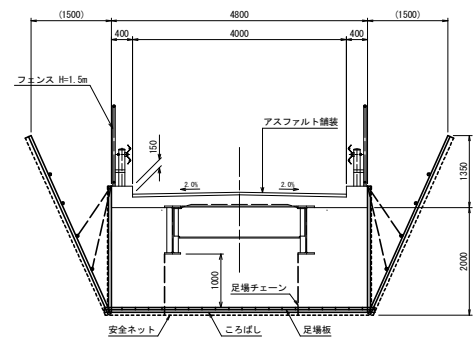
平面図

S=1:100



断面図

S=1:50



工 事 名	令和7年度 第3A1第004号 神松橋 橋梁耐震補強工事		
工事場所	志摩市 阿児町 鵜方 地内		
名 称	仮設足場工 参考図		
縮 尺	図 示	設計年月日	
工 種		設計 者	
志 摩 市		図面番号	